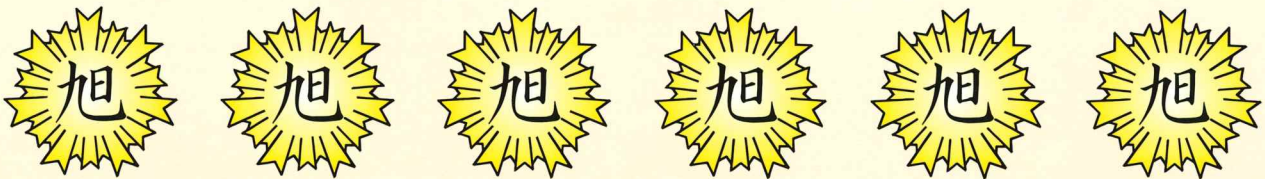


# 旭地区まちづくり推進計画

10年後のあるべき姿

めざせ住みよいまちづくり

第2次（令和5年度から令和14年度）



(旭小学校 校章)



旭地区まちづくり推進協議会

## ～ ご挨拶 ～

旭地区まちづくり推進計画を刊行するにあたり、ご挨拶申し上げます。

平素は旭地区まちづくり推進協議会の事業活動にご支援ご協力をたまわりましてありがとうございます。

本会は平成23年11月に発足し、平成24年に旭地区の課題・将来像から10年後を見据えた推進計画を策定し、協議会として毎年様々な事業活動を展開してきました。

今回、10年目を迎えるにあたり「旭地区まちづくり推進計画」の見直しと検証を行い、これ迄の10年間の推進計画を土台として、旭地区皆様の意識調査を実施させていただきました。現状と課題を踏まえ、10年後（2032年）の地域の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、取り組んだ計画でございます。

旭地区には、素晴らしい田園風景や豊かな緑のような自然に囲まれた環境のもと先人から培ってきた伝統行事があり、若い世代から高齢者までが一緒になって住み良い、活気あふれる地域づくりを、行うことが新しい伝統ある活動として根付きつつあり、団結力がある地区になっています。

しかし、一方で少子高齢化、核家族化、独居者の増加など新しい課題があります。更に今後、後期高齢者の増加が進み「買物難民対策」「医療機関の充実」「見守りネットワーク充実」「子育て支援」など地域で出来る事を一人一役をめざし、地域の絆を深め「この地区に住んで良かった」「このまちに住み続けたい」と思われることにつながるように、これからも地域の皆さまと一体となって皆さまのご意見をたまわりながら、事業計画に基づいて活動を展開していきたいと思っております。

推進計画策定にあたり、長い間ご審議いただいた皆様に、心より感謝いたします。

旭地区まちづくり推進協議会 会長 酒井 晴夫

## 旭地区まちづくり推進計画 目次

1. はじめに ～まちづくり推進計画と期間～	
(1) 旭地区まちづくり推進計画の必要性について……………	1
(2) 推進計画の期間について……………	1
2. 旭地区の概要	
(1) 現状……………	2
(2) 地区人口・世帯数……………	2
(3) 行政区……………	3
(4) 地域の主な行事と活動……………	3
(5) 旭地区防災マップ……………	4
3. アンケート等から考える旭地区の現状	
(1) アンケートの概要……………	6
(2) 旭地区の長所……………	8
(3) 旭地区の問題・課題……………	8
(4) 地域に対する意識……………	9
4. 旭地区の将来像	
(1) 基本目標……………	11
(2) 旭地区まちづくり推進協議会シンボルマーク……………	11
(3) 旭地区まちづくり基本計画……………	12
5. まちづくり推進体制……………	13
6. 基本計画取組一覧表……………	14
7. 参考資料……………	15

## 1 はじめに ～まちづくり推進計画の必要性と期間～

### (1) 旭地区まちづくり推進計画の必要性について

旭地区まちづくり推進計画とは、地区の現状と課題を踏まえ、平成24年に10年後（令和4年度）の旭地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために地域づくりの基本計画を策定されました。

計画策定にあたっては、地区の皆さんにアンケートをお願いし、旭地区の長所を伸ばし課題を解決していくことで、住みよいまちづくりが出来ると考え取り組みを行ってきました。

今回、10年目を迎えることから、再度地区の皆さんにアンケートをお願いし10年前と今回のアンケートにおいて地区の皆さんが旭地区に対する意識を確認するとともに、引き続き旭地区の将来像を地区全体で共有し、推進計画実現のため、決して人任せにせず、地区住民が心をつにし、絆を深めあい、次世代の子どもたちが「旭地区で育ち、住んで本当に良かった、戻ってきたい」といえるような、笑顔が絶えない地域・地区づくりをめざしていきます。

なお、今後の地域社会を取り巻く環境が大きく変化することも予想されますので、そうした急激な環境変化に対応するために、まちづくり推進計画を見直すことがあります。

### (2) 推進計画の期間について

今回の期間は、令和5年度（2023年度）から令和14年度（2032年度）までの10年間となります。

計画期間中に、取り巻く環境が大きく変化しても対応できるように、まちづくりの実現に向け1年毎に取り組み内容を検討実践していきます。



旭まちづくり推進センター

## 2 旭地区の概要

### (1) 現状

旭地区は鳥栖市の南西部にあたり、西はみやき町中原・南西はみやき町北茂安と南は宝満川・筑後川をはさんで福岡県久留米市と接しています。

近年は、都市化に伴い交通の利便性が良くなったので、都心へのベッドタウン化により新興住宅地として宅地化が進み田園風景がなくなりつつあります。

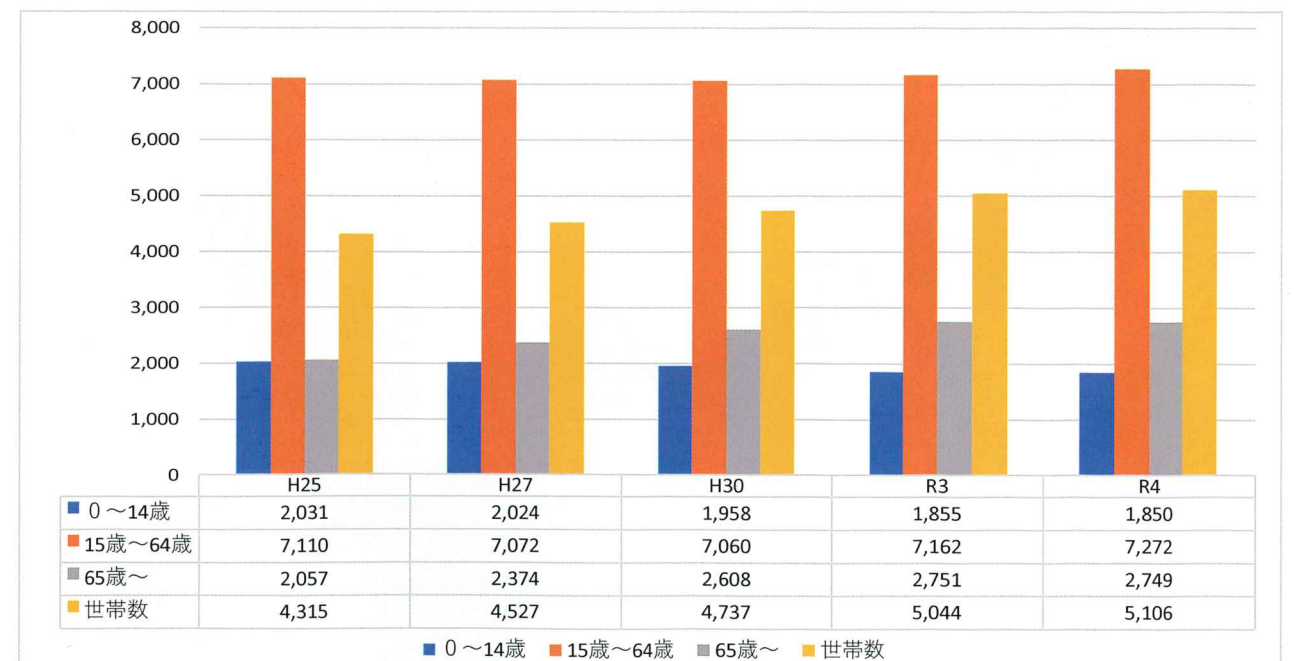
宅地化により田園地帯がなくなっていることで、豪雨災害発生による道路冠水箇所が増加していますが、対策も実施されているので災害の被害も減少すると思います。しかしながら今後共に、行政と連携し河川改修に取り組む必要があります。

2026年（令和8年）には、アサヒビール鳥栖工場の操業開始が予定されています。

主に県道336号中原鳥栖線の沿線にアサヒビール鳥栖工場ができますので、県道336号線道路拡幅や新設に伴い、生活道路からの進入や、近隣地区からの車の通行量増加が予測され事故の危険性も高まることが懸念されます。

### (2) 地区人口・世帯数

#### 〇年齢別人口と推移



旭地区の人口は平成25年以降、増加傾向にありまして、世帯数も増えております。世帯数が増加している反面、65歳以上の世帯も増加しており、老夫婦や高齢者の一人暮らしが増えており高齢化がすすんでいます。

(3) 行政区

旭地区には14の行政区があります。

江島町	村田町	西新町	儀徳町
幸津町	下野町	三島町	村田新町
西田町	前田町	競馬場団地	
青葉台	あさひ新町	棧敷団地	

(4) 地域の主な行事と活動



鳥栖市重要無形  
民族文化財 村田浮立



門松づくり奉納



旭地区 ほんげんぎょう



しめ縄づくり

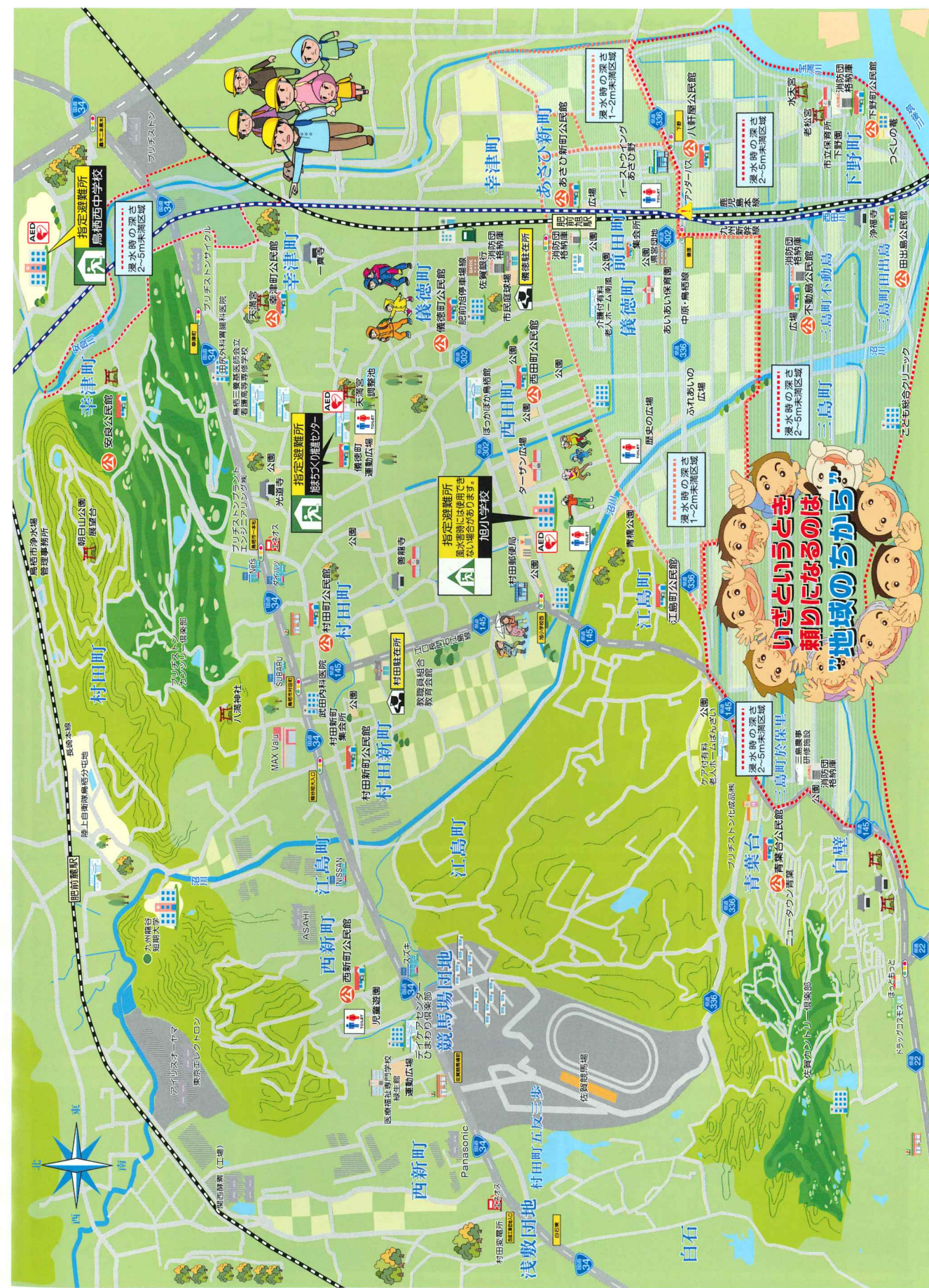


江島下宮(石王社)へ



神社しめ縄奉納

(5) 旭地区防災マップ



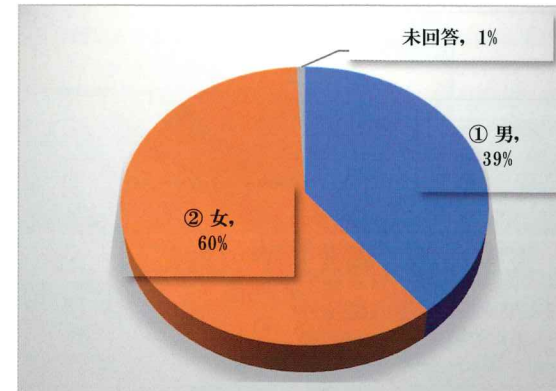
### 3 アンケート等から考える旭地区の現状

平成24年と令和4年の比較をもとに  
(旭地区で行われている活動の様子)

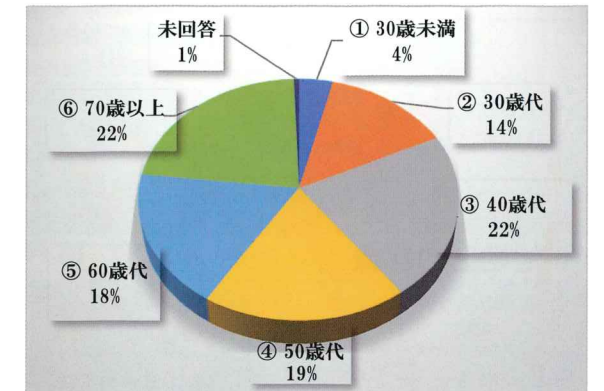


### (1) アンケートの概要

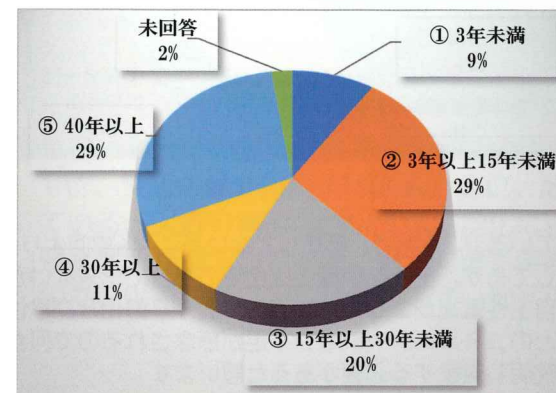
#### ① 性別



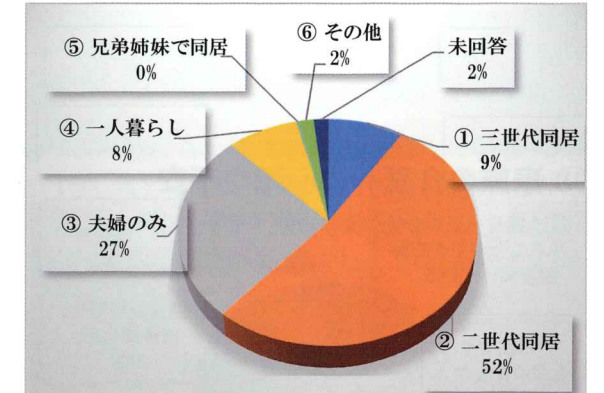
#### ② 年齢層



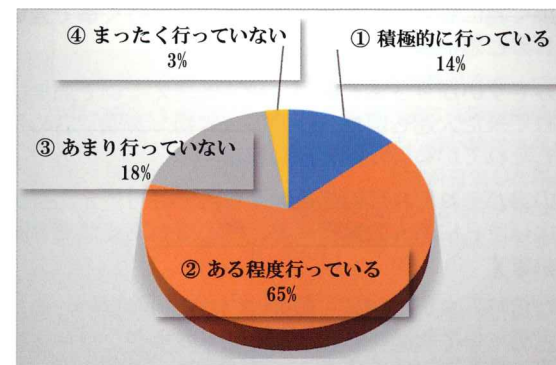
#### ③ 旭地区に住んでいる年数



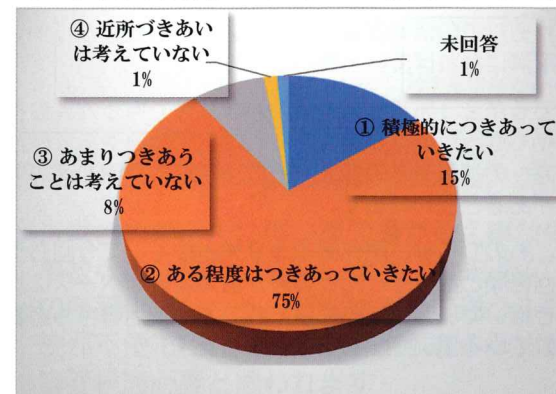
#### ④ 家族構成



#### ⑤ 近所付き合いの程度

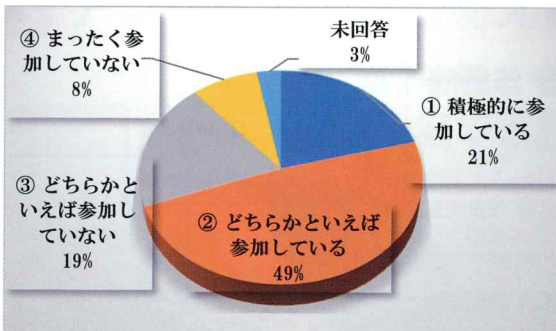


#### ⑥ 今後の近所づきあいに関する考え方

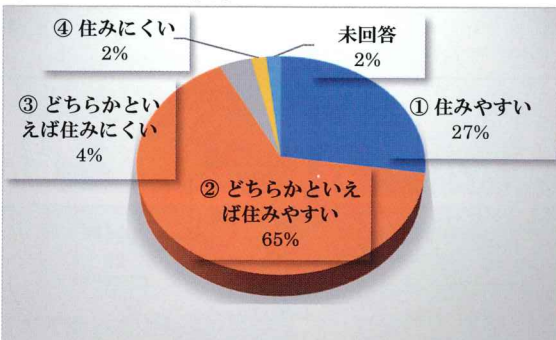


- ①女性の回答者が60%で男性が39%と前回より男性の回答者が6% (54人) 増えたので男性目線の回答を頂く事が出来た
- ②前は50歳代以上、以下の2極化回答だったが今回は30歳未満から70歳以上まで幅広い年齢層での意見を頂く事が出来たのでより良い方向へ向けて対応出来る様に取り組んでいきたい
- ③今回の調査でも30年以上が40%、30年未満が58%とやはり宅地化進む中で移住者が多く占めており特に3年未満が今回は9%を占めていて宅地化進む中で移住者増を感じ取れる。これから問われるのは古くから受け継がれる伝統や文化を守って行く為にも新旧住民の交流をいかに図って行くかが今後重要になってくる
- ④二世帯(親子)が52%で半数を占めていて核家族化による高齢者世帯が増え夫婦のみ8%増で更に一人暮らしが前回より5%増加しているため地域全体での見守り体制作りが必要であり、特に一人暮らしの人をいかに見守るかが急務となっている
- ⑤積極的とある程度行っているを含めると79%で前回より減少している。やはり新しく移住された方がうまく溶け込めないのが現状と思われるので会話が出来る環境づくりが必要である
- ⑥積極的、ある程度を含めると90%の人達が必要と回答しているが近所づきあいは考えていないと言う人が9%いて新旧の住民交流をいかに図って行くかと、人づきあいが苦手な人が溶け込める環境づくりの検討が急務と思われる

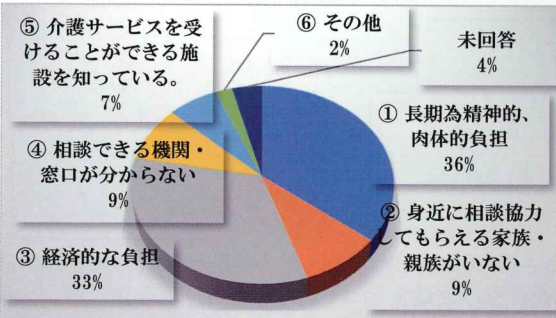
⑦ 地域行事への参加状況



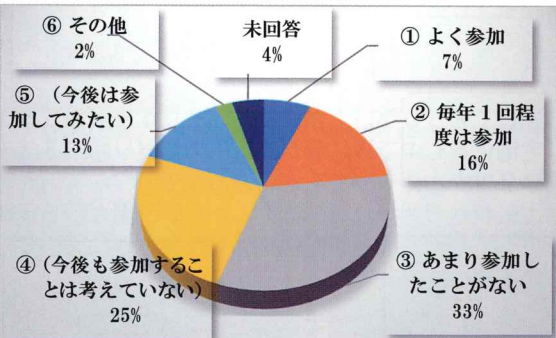
⑪ 旭地区の印象



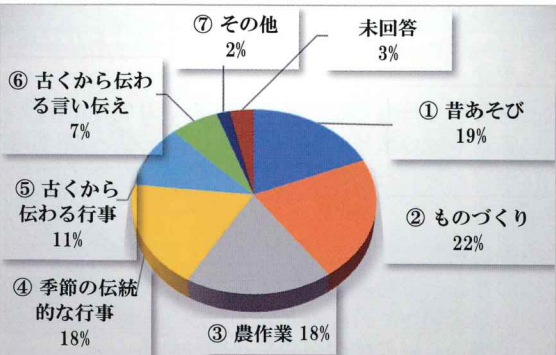
⑬ 家族の介護への心配や不安



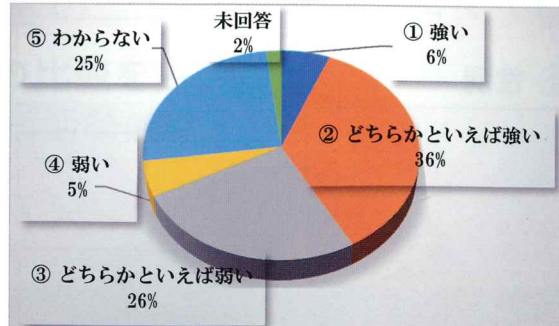
⑭ 旭地区スポーツ協会行事への参加



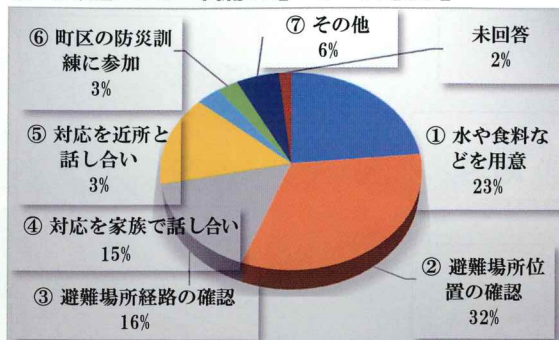
⑮ 子供たちへの伝承



⑧ 人と人の結びつき(絆)



⑫ 災害への「備え」や「対応」



⑦参加しているが70%で、参加していないが27%前回より10%減少してるが、出来ない理由は仕事の都合で出来ないが大半だが自主性重視が20%と増加しており高齢化及び移住された方とのコミュニケーション不足が懸念されるので何が問題を究明し対策する必要があります

⑧結びつき(絆)はどちらか含め強いが42%で大半を占めているが分からないが25%占めているので旭地区を理解して頂く為にも近所付き合いから密にして行く事で強い絆で結ばれると思います

⑪今回住みやすいが93%と前回より4%増えていて旭地区へ移住されて来た人達も環境、利便性(買物・交通)含めて好印象をもたれているのかなと思われます

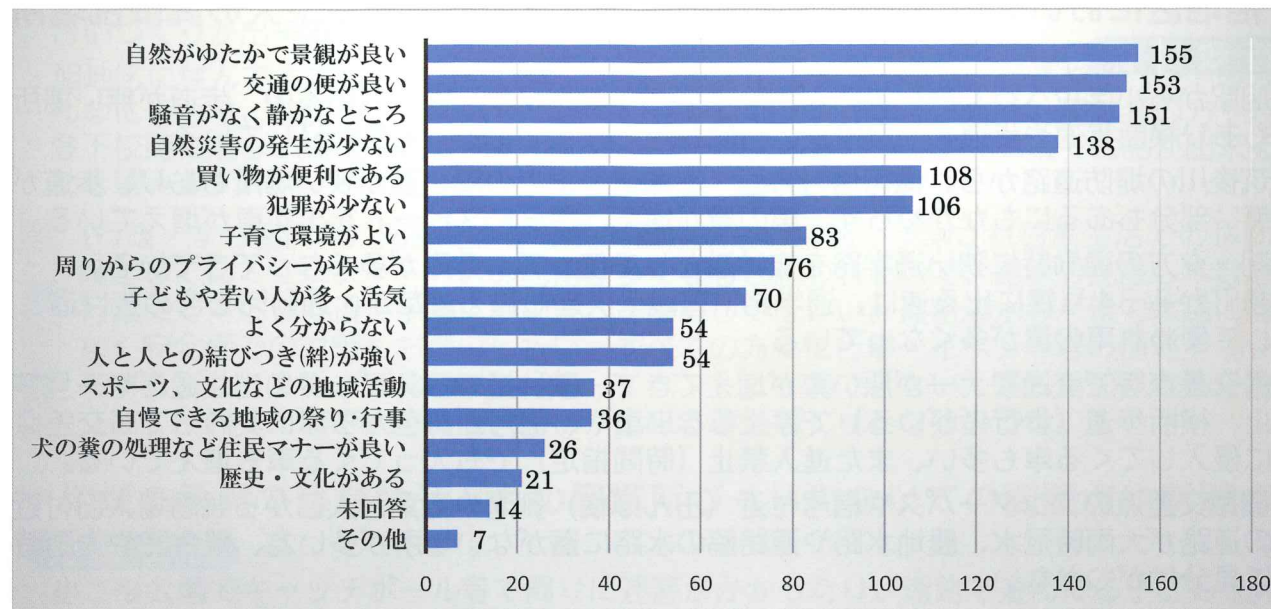
⑫92%の方がそれぞれに対応を考えられており近年の豪雨災害等によりさらに各人の意識高揚、関心度も高く危機意識を感じ取れます

⑬長期的な負担、身近に家族・親族がいない、経済的な負担が78%占めていて高齢化が進む中での不安や更には一人暮らしや、夫婦のみの世帯が増えて心配や不安に思われているので地域地区での見守り活動を密にする必要がある。ただ、今回介護サービスを受ける施設を知っているとの回答が7%あり、それぞれでの情報収集がされていることが分かり少しでも不安解消になれば良いと思います

⑭参加してるが23%で参加しないが58%で偏った人の参加や高齢化も進み以前は参加してた人が出来ないやら移住されてきた方への情報連絡の伝え方更には新旧の交流を深めて行く必要があると思われます

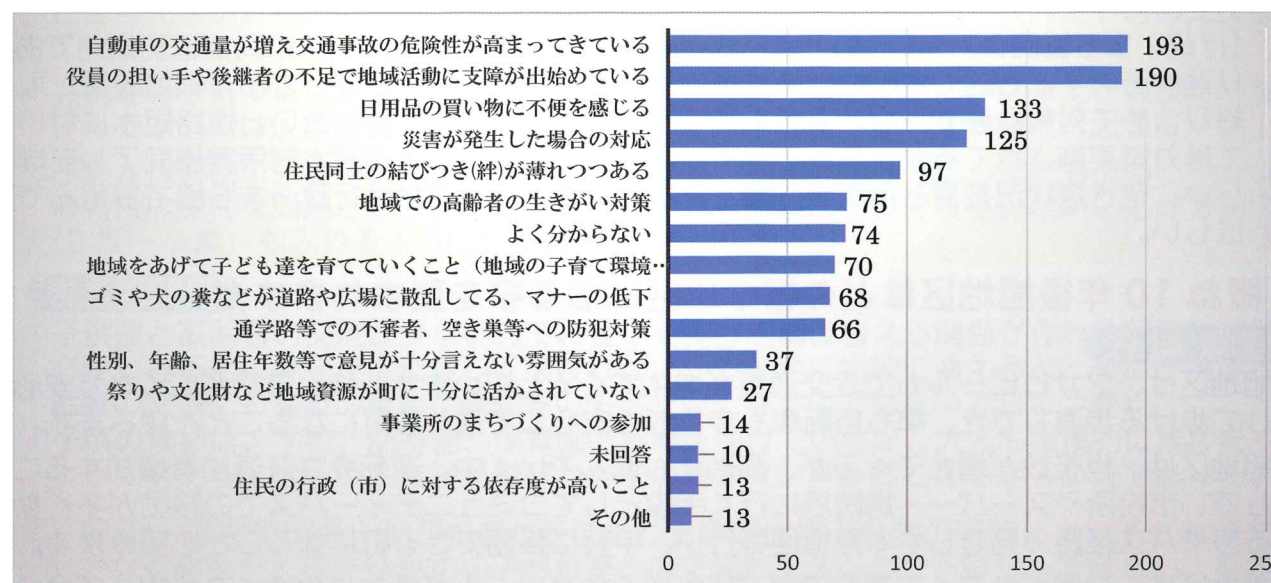
⑮昔遊び、ものづくり、農作業で59%占めていて今回も予想通りの回答順となりほとんどの方が自然環境をベースに次世代に引き継いでいける活動を望まれており復活等含め必要性を望まれている思いが伝わってきました

(2) 旭地区の長所



⑨今回は1年前の豪雨災害発生により自然災害(138人)で4位となったが、景観が良い(155人)1位、交通の便が良い(153人)2位、騒音なく静か(151人)3位と全体的に長所評価が上がっている。災害の被害については宅地化により田園地帯が減少している事で豪雨災害発生による道路冠水箇所が増加しているが、冠水対策が実施されているので道路冠水箇所も減少していくと思われるので、災害被害の少ない住みやすい地区になっていくと思われる。

(3) 旭地区の問題・課題



⑩近隣含め都市化に伴い車の量が増え事故の危険性も高まっていて、交通の利便性が良くなった反面事故への危険性(193人)が増えた結果の1位と思われる。役員担い手不足(190人)はコミュニティの希薄化が分かるので地域で心の通う人間関係を築いて行く事が大切であり、日用品・買い物・通院が不便(133人)は高齢化が進み買物難民が多くなって来てるので既存の交通機関の増便・新設等要検討必要と思われる

**(4) 地域に対する意識****\* 旭地区において日頃から危険な場所、ゴミの不法投棄や犬の糞散乱場所****行政関係**

- 旭駅から小学校へ行く狭い道路(儀徳・西田等)で車が多くなっている中、歩道が無い場所もあり横断歩道や歩道・一旦停止の白線が薄くなっていたり消えたりしている。
- 筑後川の堤防道路から、儀徳信号方面・幸津信号までの間、道が狭い場所もあり、歩道が無い部分もあるにもかかわらず、車の量が増え、さらにスピードを出す車が増えている。
- 朝、夕方の通勤時に狭い通学路を抜け道として使っている車が多くなってきている。
- 各町から34号線に出る道は、通学路や普段子供達も通る道だが、通勤時を含め抜け道として使われ車の量が多くなっている。
- 各交差点等で交通マナーが悪い車が増えてきて、狭い道でのスピードの出し過ぎや一旦停止・横断歩道(歩行者がいる)で停止しない車や、信号が黄色から赤に変わっても交差点に侵入してくる車も多い、また進入禁止(時間指定)でも入ってくる車が増えている。
- 儀徳交差点のアンダーパスや信号付近(田んぼ横)側溝や青葉台入口から競馬場入口付近の道路が大雨時冠水、農地水路や道路脇の水路に蓋がない場所が多い為、離合時や大雨時に見分けがつかない。
- 大雨時に、登下校および通行時に狭い道路で車をよける際、蓋が無い側溝があり流れの早い水路との境がわからず、落ちて流される危険がある。

**まち協関係**

- 旭地区では、子供の登下校に「見守り」が少なく危険な場所にいないことがある。
- 神社周りや住宅地の奥側・グラウンドの周り等、比較的照明が少なく、歩くのに不安がある。また、中学・高校生のたまり場になる可能性がある。
- 空き家が多くなってきており、火災等の心配がある。また、空き家の再利用等を何か考え使えないものではないか。
- 犬の糞の始末は、河川ロード周辺や田んぼ周辺では出来てない状況なので、飼い主の責任で、処理をしてほしい。河川堤防付近にゴミの不法投棄が見受けられる。

**総評** (行政・まち協関係) 10年前とほとんど道幅変わっていないのに近年車両は増加傾向であり通学時の子ども達も危険性が高く更には生活道路迄抜け道となっており標識設置・取締りを含めて対策急務であり、道幅を広くする対策も実施して貰いたい。道路冠水に付いては対策実施されてるがさらなる見直しと追加工事実施による冠水対策実施完了してほしい。空き家状況把握と再利用方策と子ども達の見守り活動は行政・まち協で取組んでほしい。

**\* 概ね10年後旭地区はどのような地区になる事を望まれますか****行政関係**

- 旭地区は、アサヒビールもでき交通量が増えてくると思います。狭い道路が広くなり安心して歩ける歩道もでき、車も自転車も歩行者も安心して通れる町になることを望みます。
- 旭地区は、世帯数が増えてくるが、高齢化も進んでいく中、運転免許証返納者増加することで、市役所やスーパー・病院等に行く手段としてコミュニティーバスでの移動が多くなるのでバス経路の見直しや本数増便等行い、手軽に移動できる町になることを望みます。
- 旭地区は、公園が少なく道路で遊ぶ子が多く危ない。人が集まりやすく立ち寄って会話が出来、子どもたちがのびのびと遊べる大きな公園整備する事で環境づくりとなる、また公園には子どもたちが遊べる遊具が充実していることを望みます。
- 旭地区では、大雨が降るとあちらこちらで冠水します。冠水しないように改善することと、水路に落ちないように蓋をするかななどの対策をし、安心安全に暮らせるまちと交通事故等のないまちになることを望みます。

**まち協関係**

- 子ども食堂や子育て世代が、気軽に参加できるイベントや共働きで、休日以外参加できない人達が参加できるイベント等をまち協、各地区にて企画して町を盛り上げ、人との触れ合いづくりが出来る事を望みます。
- 旭地区に住んでるすべての方に行事やイベント等のチラシが届き、行事やイベント等がみんなに伝わり、参加して町を盛り上げていき、町の交流を図る。また、高齢者の方や親が登下校時に危ない場所や家の前などに立って子供達を見守っていくことで会話が出来ることを望みます。

**総評** (行政・まち協関係) 高齢化が進み免許証返納者の増加が予測され日常生活での移動手段としてコミュニティーバスの利用が多くなると思われるので、路線の見直し本数増を行政にて対応して頂き手軽に移動できる町にしてほしい。道路冠水の一環で水路に蓋がなく安全面での対策もお願いしたい。すべての方々に行事・イベント等の情報チラシ配布すると共に共働きで休日以外行事・イベントに参加できない人達も参加できる企画の立案、検討する事で人との触れ合いが出来る環境づくりとなるのでは。

**\* 地域の子育て事業や子どもの居場所づくりについての問題点や課題点****行政関係**

- 小さな公園でキャッチボール等で周りに迷惑がかかったり、道路で遊んでる子どもを見かけます。子供達が気軽に遊べる公園や広場がない。小さな公園にある遊具等も錆びついているものもあり、壊れかかっているものもある。また、雑草が生えている為子供が怪我しないように町で定期的に見回り、安全安心に遊べる公園になるよう支援してほしい。
- なかよし会は、小学校1年～3年までになっていてなかなか入りづらい中、共働きが多くなっているこの親世代、4年～6年は、親が帰ってくるまで家に子供だけで待っている状態(特に冬場や台風、大雨時)は心配な為、高学年を預かってもらえる居場所がない。また、子供食堂など食の支援により安心して子育てが出来る環境にしてほしい。なかよし会では途中の出入りができなくまちづくり推進センターのイベントに参加ができないこと等あり、ルールが古く現状にあったルールに改善が必要ではないか。
- 他の地区では給食費無料等の補助が出来ていて、子育て支援の環境が整っているが、鳥栖では、なかなか子育て支援の大きいものはない。旭の町は世帯数が増える中、格差が無いとは言えない。補助の充実を図って子供達が平等に教育を受けて、放課後も含め支援をしていただけないか。
- 共働きの家庭では、保育園入園が決まらなると仕事復帰ができない。また、共働きやシングル家庭では、放課後の子供達の居場所をどのように作るかが問題だと思う。
- 子供が保育園に入れず、待機児童により共働きが困難になっている家庭もある、シングルの場合深刻な問題と思う。安心して預けられる施設を作ってもらいたい、併せて幼児(0歳～3歳)も入れるようにしていただきたい。

**まち協関係**

- 子供達と高齢者の交流が少ないので、互いを知って助け合える関係が作れる行事や場所が必要。登下校に見守りに支援して頂ければ、安心安全に学校に通えるとともに子供達と高齢者の交流にもなる、また、高齢者の生きがいになるのではないのでしょうか。
- 子供の挨拶は、学校、幼稚園、保育園で指導を受けているが、大人も積極的に挨拶をするように努力してほしい。挨拶が飛びかい子供達の笑い声が聞こえる明るい町でありたい。

**総評** (行政・まち協関係) 子ども達が遊びまわる事が出来る公園の新設により子ども達だけでなく高齢者も集まりやすく子ども達との交流も出来るので予算化してほしい。高学年の居場所づくりは行政・まち協・まちセンにて要検討が必要です。なかよし会の古いルールは行政にて議題として改定して頂きたいです。子どもが保育園に入れず待機児童となり共働きが困難となっている家庭があり、行政として何らかの対策をして頂きたい。子どもの挨拶はかなり出来ているので、大人から積極的に挨拶を行い挨拶をするのが当たり前の慣習を築き上げる事で旭地区の子ども達から元気な声が聞こえる明るいまちになる事を望んでいます。

## 4 旭地区の将来像

### (1) 基本目標

ゆたかで美しい自然と伝統文化と、人の絆を大切にし  
元気な笑顔と思いやりの心で人々がつながる住みよいまち

旭地区まちづくり推進協議会は、旭地区の特性をふまえ、旭地区の長所を伸ばし、課題解決をすすめて行くことが、めざしたい町の姿と住みよいまちづくりと考え、旭地区の「利便性」「自然環境の良さ」等の特徴を伸ばし、住みよいまちをつかっていくため、基本目標を定め取り組んで来ました。

今後もこの基本目標に基づき達成に向け取り組んでまいります。

### (2) 旭地区まちづくり推進協議会シンボルマークについて

地区の皆様旭地区まちづくり推進協議会の存在、前項の「基本目標」達成に向け広くPRしていくため、地区の皆様にあらためてシンボルマークの紹介をいたします。今後もこの旭地区まちづくり推進協議会シンボルマークのもと基本目標達成に向け取り組んでまいります。



#### コンセプト

旭という漢字に旭地区にあるものをいれてみました。旭地区には団地がたくさんあるので家を入れてみました。

旭の1画目は山を表し朝日山、2画目は川を表し筑後川、○は昇るあさひを表したイメージとしています。

\*旭地区まちづくり推進協議会シンボルマークが地区に浸透してないので今回改めて紹介しました。

### (3) 旭地区まちづくり基本計画

基本目標である「ゆたかで美しい自然と伝統文化と人の絆を大切にし元気な笑顔と思いやりの心で人々がつながる住みよいまち」の達成に向け、3つの柱と8つの基本テーマに沿って各種事業を展開します。



心を一つに強い絆を深めあい助け合うまち

- ★きずなづくり
- ★地区活動の場づくり
- ★コミュニケーションが取れるまちづくり

笑顔が絶えないしあわせなまち

- ★健康なまちづくり
- ★高齢者夫婦・一人暮らし・障がい者が暮らしやすいまちづくり

ゆたかで住みよいしあわせなまち

- ★子育て環境づくり
- ★ゆたかで景観が良く美しい故郷づくり
- ★安心して暮らせるまちづくり

【基本目標】

ゆたかで美しい自然と伝統文化と人の絆を大切にし元気なえがおと思いやりの心でつながる住みよいまち



## 5 まちづくりの推進体制

まちづくり推進計画の推進は、旭地区まちづくり推進協議会の組織を基本とします。

### 旭地区まちづくり推進協議会運営体制（令和4年度）



## 6 基本計画取組一覧表

基本計画に基づき、まちづくりの実現に向け1年毎に取組内容を検討実践し、長期的に取組みます。

### (1) 心を一つに強い絆を深めあい助け合うまち

#### ①安全・健康・環境部会

#### ②地域・教育・福祉部会

テーマ	取組	担当部会	
きずなづくり	多世代交流		
	地区で声かけしやすい環境づくり 新旧住民の交流が図れる場の活用		
地域活動の場づくり	行事や活動・イベントの広報強化	①	②
	行事参加者不足の解消 担い手不足の解消		
コミュニケーション が取れるまちづくり	あいさつ運動の活性化		
	ふれあい交流事業		

### (2) 笑顔がたえないしあわせなまち

テーマ	取組	担当部会	
健康なまちづくり	だれもが運動できる環境づくり	①	
	健康情報の広報と情報収集 生涯学習の推進		
高齢夫婦・一人暮らし ・障がい者が暮らし やすいまちづくり	高齢夫婦・独居者の見守り活動推進	①	②
	地区ごとの見守りネットワーク推進 安心して暮らせる環境づくり		
	生きがい対策（いきいき生活塾）		②

### (3) ゆたかで住みよいしあわせなまち

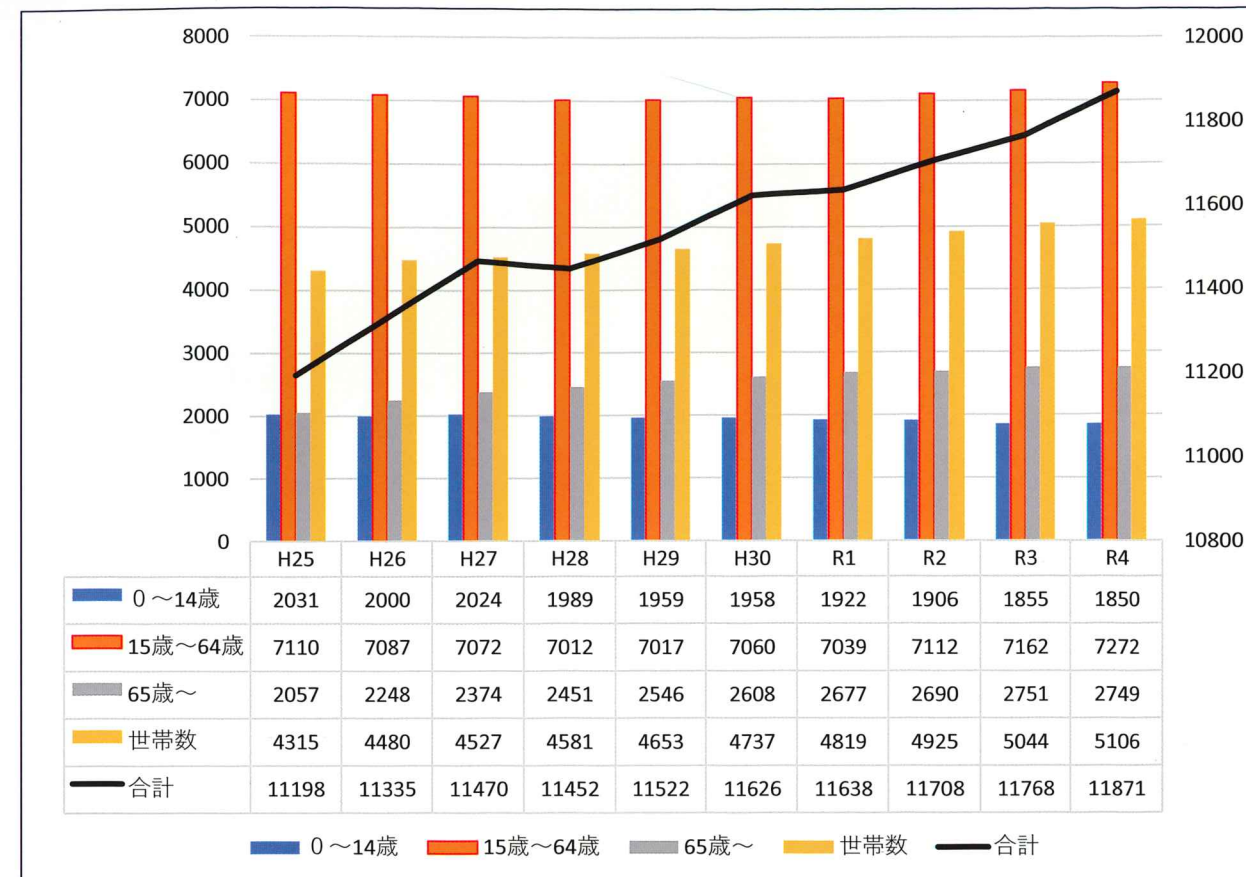
テーマ	取組	担当部会	
子育て 環境づくり	子どものふれあい遊び場づくり		②
	子どもの居場所づくり支援事業		
	地域の子育て環境整備		
	子どもと高齢者のふれあい交流事業		
	子育て支援が必要な方の支援対策		
ゆたかで景観が良く 美しい故郷づくり	挨拶が飛び交う笑顔な町づくり	①	②
	環境美化		
	住民マナーの向上啓蒙活動推進 歴史、文化の伝承		②
安心して 暮らせる まちづくり	道路冠水箇所表示と冠水対策実施	①	②
	避難場所の周知教宣活動推進		
	防災・防犯対策（空き家対策）		
	気軽に移動できる交通環境づくり		
	交通マナー対策 生活道路での車速度制限対策	①	

5 参考資料

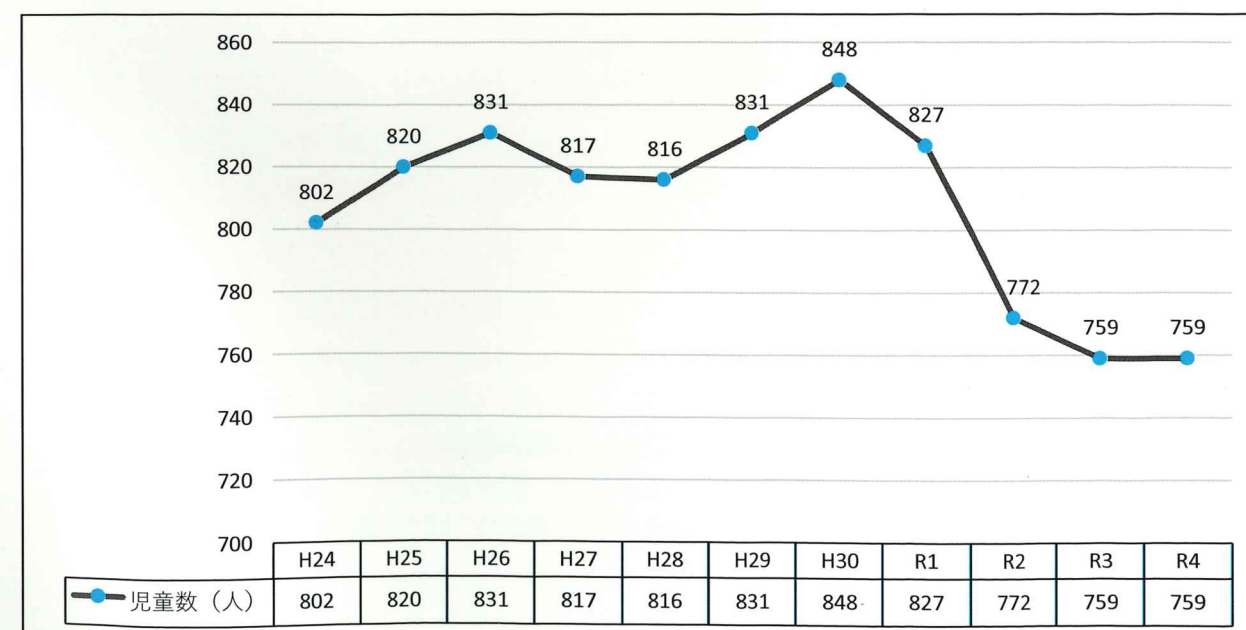
旭地区まちづくり推進協議会 10年計画策定委員会メンバー

会 長	酒井 晴夫	旭地区まちづくり推進協議会 会長
副 会 長	小林 和昭	旭地区女性グラウンドゴルフ 会長
	古賀 政晴	旭地区民生委員児童委員協議会 会長
安全・健康 環境部会	安本 香織	旭まちづくり推進協議会（一般公募委員）
	大石 豪	旭地区交通安全対策協議会 会長
	小川 俊一	旭地区下野町区長
	野田 理恵	旭小学校PTA会長
地域・教育 福祉部会	樋口伸一郎	旭地区子どもクラブ 会長（市議会議員）
	陶山 武司	旭地区社会福祉協議会
	篠原日出夫	旭地区老人クラブ 会長
	岡本 治美	真心の園デイサービス 副センター長
顧 問	中村 圭一	佐賀県議会議員（一般公募委員）
事務局長	清水 幸雄	旭まちづくり推進センター センター長
市役所	池田 翔麻	鳥栖市役所 市民協働推進課
市役所	酒井 雄大	鳥栖市役所 市民協働推進課
事務局	牟田 武志	旭まちづくり推進センター 職員
事務局	丸山 弘子	旭まちづくり推進センター 職員
事務局	吉永五十鈴	旭まちづくり推進センター 職員

○旭地区の年齢別人口と世帯数の推移



○旭小学校児童数の推移





発行 令和5年3月  
旭地区まちづくり推進協議会  
旭まちづくり推進センター内  
住所：佐賀県鳥栖市儀徳町3155番地2  
電話：0942-82-2603  
FAX：0942-55-8513

UD  
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた見やすいデザイン  
の文字を採用しています。